

We Love ごじょう

五條市社会福祉協議会では、支えあい・助けあい活動を推進しています。皆さま一緒に地域づくりをしてみませんか！

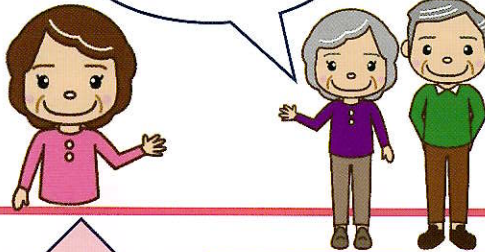
地域資源（地域づくりに必要な人・サービス・活動など）

- | | |
|-------------|-----------|
| 地域の人・企業・団体 | 地域の伝統・文化 |
| 既存の生活支援サービス | 公共・民間サービス |

皆が集まれる場所を作りたい

何かできることはないですか

趣味・特技を活かせる場所はないかな～



話しあいの仲間(場)♪

数人の仲間で地域の活動を知ったり、「あったらいいね」を提案したり、自分たちでできることを話し合ったりする仲間(場)づくりをすすめています。



◆私たち生活支援コーディネーターは、私たちのまちをより良くしていくために、地域のさまざまな人や活動をつなげ、組み合わせる調整役です。

◆住み慣れた自分のまちでいくつになっても暮らし続けられるように、地域住民が支えあう仕組みを、みなさんと一緒につくっていきます。



地域の高齢者はこんなことで困っています

遠くまで買い物に行けないな～



ゴミ出しが大変です



電球交換ができません



最近、出かける機会がなくなったな～

☆五條市の全域を社会福祉法人五條市社会福祉協議会が、大塔地域を五條市社会福祉事業団大塔ライフハウスが担当して、それぞれ生活支援コーディネーターを配置しています。いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる助け合いのまちづくりを目指しています。

♡五條市内の支えあい・助けあい活動の取組み紹介コーナー♡

『田園公民館での話し合いの様子』



田園公民館館長・蔵永さん

五條市でもっと地域の支えあい・助けあい活動を広げていきたいけどどうしたらいいかな…



生活支援コーディネーター

ある日、

田園でふれあいカフェや子ども食堂をされている代表者さんに出会う。



ふれあいカフェで週1回集まっているよ。1度来てみる？

R5年9月、田園公民館へ行き、地域での支えあい・助けあい活動の説明をさせていただくと・・・

「私は、ご近所の方が『通院するのに足腰が弱ってバス停まで歩けないし、タクシー代は高い』と話されていたのが気になるわ」次々と意見が出ました。

「そういえば、田園のバス停で椅子の無いところがあって、おばあさんがしんどそうにバスを待っていたわ」



「どうしたら解決できるかなあ。」サロン活動の打ち合わせの後、地域での困りごとの話し合いが始まり、現在も続いています。



2月1日に行われた大塔地区での話し合いの場「ささゆりの会」で、メンバーの皆さんが他市で行われた「支えあい・助けあい活動の住民発表会」の動画を視聴されている様子です。「お互いに気を使わなくて良いように考えられたワンコイン生活支援サービス」などの具体的な取り組みの内容に今後の取り組みへの刺激を受けられたようでした。



子ども食堂の代表者さんの「食材以外にもいろいろ経費がかかって大変です。」の一言をお聞きしたので、大和物産株式会社様に子ども食堂で使えるものを寄贈していただけないかとお相談したところ、社会貢献としてぜひ協力したいとご快諾いただき、箸や紙コップ、プラスチック容器など、たくさんの品物をいただきました。いただいた物品は五條市内の子ども食堂やふれあいカフェなど4カ所にお渡しさせていただきました。また奈良県社会福祉協議会にもお繋ぎして、県内の子ども食堂にもお渡しされました。

寄贈していただいた物品です



地域活動に興味をお持ちの方、「自分の地域でも何かできるかな」とお思いの方は、ぜひお気軽に「五條市社会福祉協議会」までお問い合わせください。

社会福祉法人五條市社会福祉協議会（地域福祉係）
〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号
☎0747-24-4152

メール作成はこちらから

